

町に寄付して参りました。今回は私も参加し、山元町の被災地の復興状況や産業まつりを視察したところでありますが、まつり会場には約3万2千人の方が来場され大変盛況で、本町ブースも商工会青年部員の皆さんの盛り上げにより多くの方に利用いただき、一時は行列ができるほどで、商品も予定した時間前に売り切れる状況でありました。

また、参加した商工会青年部の皆さんは、東日本大震災についても関心が高く、まつりの前日と翌日に、福島県や宮城県の被災地を訪れ復興状況などを視察し、新冠町の防災への取組などに積極的な意見交換をされたとのことであり、今後の地域の防災対策などで活かされる事を期待しているところでもあります。

以上が、山元町復興支援イベントへの参加結果であります。

### 国保診療所・医師の就任について

国保診療所の医師体制は、現在、所長のみの常勤医師1名体制と出張応援医師により診療所の全ての診療業務を対応いただいております。

当診療所は町立の診療所として、地域に根づいた医療と保健・福祉との連携による予防事業を推進して行く上において果たすべき役割は重要と考えておりますが、近年、特に厳しくなっている地域の一次医療機関における医師

の確保など、医療の運営環境の中で公共の福祉の増進と効率的な運営をより強く推し進めて行かなければならないことから地域医療に関心が高く、率先して取り組んでいただける医師の招聘について関係機関への紹介など、協議を重ねてまいりましたところ、この度道内の市立病院に勤務されており、来年度の4月に当診療所に就任されることになりましたので、ご報告申し上げます。

内科医師としてお迎えする先生は、現在、赤平市の市立病院に勤務されている服部晃好（はっとりあきよし）先生であります。

服部先生は宮崎医科大学医学部を卒業後、長崎大学医学部付属病院をはじめ、勤医協中央病院、富良野協会病院、医療法人社団三意会・我妻病院での研修医期間を了し、現在、市立赤平総合病院の内科医として勤務されております。

現在の市立赤平総合病院には来年3月まで勤務した後、3月中旬過ぎに当町に転居し、4月から診療を開始する予定となっております。

服部先生の着任によりまして、常勤医師体制は所長との複数体制となりましますことから、現在、所長1名体制による業務負担軽減策として実施しております入院制限及び平日診療の一部休診につきましては従来の診療体制に戻すこととしております。

なお、今後の診療所運営においても



新冠小学校での学習発表会

### 認定こども園ド・レ・ミの教育・保育について

11月16日、ド・レ・ミのおゆうぎ会をレ・コード館において開催しました。

園児たちは、会場を埋め尽くす多くの保護者や祖父母、地域の方々が見守る中、町民ホールのステージ一杯に日頃の教育・保育活動の成果を表現しておりました。

また、おゆうぎ会で発表した演目を恵寿荘やあいあい荘、おうるの郷などの入所者の方々にも見て頂くため、それぞれの施設を訪問し、また、ひとり暮らしふれあい年越し会にも招かれ、高齢者との交流を深めております。

また、12月3日、4日の二日間をフリー参観日とし、保護者のもとより、地域の方々にも多数来園いただき、開

## 教育長行政報告

### 学校教育の推進について

#### 教育委員の活動

10月24日に様似町で開催された、管内教育委員研修会に参加し、卒業式などにおける国旗掲揚及び国歌斉唱の適切な実施について、管内各町教育委員との意見交換を行うとともに適切な指導について研修してまいりました。

さらに、各校の行事などにも積極的に参加し、学校の実態を踏まえた教育委員の活動を展開してきています。

#### 確かな学力の育成

12月2日には、新冠町教育研究協議会の第2次研究会が開催され、各部会による授業公開が行われ、学力向上に向け、ICTを活用した指導方法などの研究協議が深められました。

教育委員会としましては、今後ともこのような教職員の研修が充実、継続されるよう、支援して参ります。

このほか、保育士が、新冠小学校の参観日に参加し、保育所卒園児の授業の様子を参観するなど、幼・小・中の連携を深めております。

#### 協同体制づくりと専門的な指導

これまで、認定こども園ド・レ・ミでは、様々な研修機会を設け、保育士の資質向上に努めておりますが、11月6日と8日には、当町と同様、幼保連携型の形態をとっている、土幌町、ニセコ町の認定こども園の視察研修を行い、また、11月23日には、専門講師を招聘し、教室などの環境づくりや教材・遊具の適切な活用方法について実践的な研修を実施するなど保育士の研修を深めております。

#### 幼・小・中の連携

今年も新冠中学校の3年生がド・レ・ミを訪れ、絵本の読み聞かせや折り紙の指導などの保育実習を行い、園児・中学生ともに貴重な体験・交流の場となりました。



園児に絵本の読み聞かせをする中学生

日高教育局の指導主事による学校訪問  
新冠小学校は9月26日、朝日小学校は11月21日に実施され、指導技術向上に向けた取組と、各校の研究課題に即した研修など学校の抱える研修課題解決に向け指導主事を有効に活用した研修活動が実施されました。

#### 豊かな心身の育成

新冠小学校では10月18日に学習発表会が、朝日小学校では10月26日に学芸会が行われました。

「ふるさとかるた」を題材にふるさとにかつぷを調査研究した内容の発表や「平和と友達の大切さ」を考えさせる劇など工夫を凝らした内容でした。

また、新冠中学校では、10月4日、7日の両日、学校祭が行われ、第2日目では、今年もレ・コード館のステージで吹奏楽部の演奏と合唱コンクールが行われ、真剣な表情に対し来場頂いた多くの保護者や地域の方々からあたたかい声援を受けておりました。

また、キャリア教育については、11月8日に3年生全員が21事業所において職場体験を行うなど、将来の職業や自らの生き方について考える貴重な取組を進めました。

また、2年生は、11月14日から15日に、札幌市内の専門学校において体験学習  
このほか、保育士が、新冠小学校の参観日に参加し、保育所卒園児の授業の様子を参観するなど、幼・小・中の連携を深めております。

さらにド・レ・ミでは、昨年からは毎月、様々なケースを想定した避難訓練を実施し、幼児に対する防災教育を推進しておりますが、10月22日には、新冠小学校と合同による避難訓練を実施しました。

同時に地震が発生し大津波警報が発令されるという想定で、それぞれが東町避難路を経て泊津高台へと避難するもので、避難路における小学生と園児との関わりについて検証しようとして行ったものでしたが、ド・レ・ミ園児は、避難開始から8分程度で、避難階段を登り切り、高台で小学生を待つ形となりました。

今後は、新冠中学校も含めた、幼・小・中合同の訓練についても視野に入れ、実践的な防災教育の充実を検討したいと考えております。

### 社会教育の推進について

#### レ・コード館の活動

12月6日エジソンが蓄音機を発明した「音の日」にちなみ、ゆーあい天馬、あいあい荘、恵寿荘、おうるの郷において蓄音機による出張レコードコンサートを行いました。なつかしいレコード音楽に触れ、往時のことを思い出しながら感激されている様子が見られました。